

〈解答〉

- ①
- | | | | | | |
|---|----|---|-----|---|-------|
| 1 | し | 2 | べんぎ | 3 | せつちゅう |
| 4 | 関心 | 5 | 握 | 6 | 費 |

- ②
- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | 2 | ウ | 3 | ア | 4 | エ | 5 | エ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

配点 各1点 11点満点

〈解説〉

- ①
- 「強」の訓読みは「つよ(い)・つよ(まる)・つよ(める)」もあり、音読みは「キョウ」「ゴウ」である。特に「ゴウ」と読む熟語には強欲・強情・強引・強奪などがある。
 - 「便」の音読みは「ビン」もあり、訓読みは「たよ(り)」である。「便宜」とは「何かをする上で都合なこと」。

- 「折」の訓読みは「お(る)・おり・お(れる)」である。「折衷」とは「二つの違ったもののよいところをとって、別のものをつくること」。

- 「心に深く感じること」を意味する「感心」と混同しないこと。

- 「握」の音読みは「アク」で、握手・握力・掌握・把握などの熟語がある。

- 「費」の訓読みは「つい(やす)・つい(える)」で、消費・浪費・経費・歳費などの熟語がある。

- ②
- 「雪が降る朝」と言いかえられる、主語を示す格助詞「の」である。アは連体修飾語をつくる格助詞「の」である。ウ・エは「…もの」「…こと」と言いかえられる、体言の代用の格助詞「の」である。

- 動作の目的を示す格助詞「に」である。アは接続助詞「のに」の一部、イは助動詞「そ(うだ)」の連用形の一部、エは形容動詞「きれいだ」の連用形の一部である。

- 手段・方法を示す格助詞「で」である。イは接続助詞「て」が濁音化したものである。ウは断定の助動詞「だ」の連用形で、エは形容動詞「安全だ」の連用形の一部である。

- 作用の結果を示す格助詞「と」である。アは副詞「にっこりと」の一部である。イ・ウはどちらも接続助詞であるが、イは順接の確定条件を示し、ウは逆接の仮定条件を示している。

- 形容動詞「まじめだ」の連体形の一部である。アは断定の助動詞「だ」の連体形である。イは助動詞「ようだ」の連体形の一部で、ウは連体詞「大きな」の一部である。